

平成30年度 自衛隊家族会事業報告

1 全 般

世界の特に我が国を取り巻く東アジアの安全保障環境は、極めて流動的かつ不透明な状況が継続した。(詳細は、本会発行の総合募集情報誌「Defense World 19」のとおり。)

係る状況の中、12月には、新たな防衛計画の大綱が策定され、多次元統合防衛力構想が打ち出された。同時にこれに基づく新たな中期防衛力整備計画も策定され、初年度の令和元年度予算は、本年度中に成立となった。

自衛隊は、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処及び南スーダンPKO (UNMISS) における司令部要員の派遣を継続しつつ弾道ミサイル対処態勢の維持や北海道胆振東部地震災害、西日本豪雨災害派遣等に対応した。

本会は、「自らの国は自ら守る」という防衛意識の普及・高揚を図るとともに、家族支援協力、現下の募集環境の厳しさに対応した活動等を実施し、防衛基盤の確立・強化に寄与した。我が国の安全保障上の根幹的な役割を担う自衛隊が誇りと自信を持って任務に邁進し得る環境を自衛隊の諸活動に対する協力・支援を通じて作ることを目的としたものである。

2 主要事業の成果

(1) 公益事業1：「国民に対する防衛意識の普及・高揚事業」

我が国の安全保障に係る諸問題や自衛隊の国内外での活動状況とその意義等について、国民からの更なる理解の促進を図り、併せて、憲法上の自衛隊の位置付け、島嶼防衛等について思考し再認識する機会を提供する次の事業を行った。

ア 防衛講演会等

(ア) 本部計画の防衛講演会

a 群馬県防衛講演会

11月11日(日)、群馬県自衛隊家族会が担当し、前橋市において伊藤会長出席のもと、森山尚直氏(元東部方面総監、現家族会運営委員)を講師として講演会を開催した。本会会員はもとより前橋市民を初め群馬県民、防衛協会会員、隊友会会員、自衛隊群馬地方協力本部長等、会員以外の参加者を含め約187人が熱心に聴講した。本会会員以外の参加者は約8割であった。

森山講師は、『日本の防衛について』と題して講演し、「国内外情勢」、「防衛計画の大綱見直しについて」、「世論調査に見る国民の防衛意識」及び「心の領域での戦いへの備え」について丁寧に分かり易く説明し、国民一人ひとりの強い防衛意識の保持が重要であると強く語った。

アンケート結果は、ほぼ全ての参会者から満足できる内容との回答を得た。

b 宮崎県防衛講演会

12月9日（日）、宮崎県家族会が担当し、児湯郡新富町において伊藤会長出席のもと、佐藤正久氏（外務副大臣、自衛隊家族会顧問）を講師として講演会を開催した。本会会員はもとより宮崎県民、学生、防衛協会会員、隊友会会員、自衛官募集相談員、自衛隊宮崎地方協力本部長等、会員以外の参加者を含め約260人が熱心に聴講した。本会会員以外の参加者は約6割であった。

佐藤講師は、『我が国の最新国防事情』と題して講演し、「周辺諸国の情勢」、「防衛大綱・中期防衛力整備の重要性」、「有事関連法の重要性」及び「自衛官募集の重要性」について、自衛隊勤務時代の所見や国会議員として自衛隊各部隊を視察した際の現地の声等を交えながら、分かり易く説明した。最後に、自衛隊OBの国会議員として問題解決に努力することを約束し講演を終えた。

講演会終了後、多くの聴講者からは、「素晴らしい講演であった。」「子供たちに是非聴いて欲しい内容だ。」との称賛の声を得た。

（イ）各県家族会が実施した防衛講話

各県家族会が計画・実施した講話は、67回（平成29年度66回）で前年度比約2%増であり、各地区会の計画・実施は、340回（平成29年度305回）で前年度比約11%増であった。また、本会会員以外の参加者は、各県家族会 約41%、地区会 約34%であった。

講演会の講師としては、地方協力本部及び部隊と密接に連携し、所在地域の自衛隊各級指揮官等を講師として招聘し、防衛問題や自衛隊、特に地元自衛隊部隊への理解促進を図った。

（ウ）隊友会主催防衛セミナーへの協賛、協力

10月4日（木）、隊友会主催、家族会等が協賛し防衛セミナーが、損保ジャパン日本興亜(株)本社講堂において『日本を取り巻く安全保障環境の変化とわが国の進路』とのテーマで実施され、三浦瑠璃氏と富坂聡氏が講演した。家族会からは、伊藤会長以下東京近郊の会員25人が参加した。

また、隊友会本部が計画した「青森県防衛セミナー」には青森県自衛隊家族会が、「大分県防衛セミナー」には大分県自衛隊家族会が夫々協賛した。各県隊友会が実施した「防衛セミナー」等に各県家族会が積極的に協力し防衛意識の普及高揚に努めた。

イ 防衛情報紙「おやばと」の発行及び拡販の推進

（ア）「おやばと」の発行

防衛情報紙として、防衛政策及び各自衛隊の諸活動などを読者にタイムリーに伝えるとともに、広範な読者にとって有益な「おやばと」を目指し、カラー紙面の増大の考慮等、より魅力的な紙面とする為の努力を継続した。

安全保障関連の情報を読者に分かり易く解説することに着眼をおきつつ、「日本史の窓から」、「シニアの達人」、「県家族会会長等奮戦記」、「回想 自衛隊の災害派遣」、「美佐の新国防論」「やたがらすの眼」及び「健康の扉」等の多彩な連載を継続した。

各月号の特集記事は次のとおりである。

月号	特 集 記 事
4月	入隊・入校激励会、活性化アンケート結果
5月	自衛隊・家族会新年度スタート、入隊・入校式
6月	女性自衛官教育隊を訪ねて、「家族団らん」スタート
7月	自衛隊家族会総会・式典、新隊員訓練の激励
8月	西日本豪雨災害派遣、陸曹への挑戦
9月	平成30年版防衛白書、空曹への挑戦、「シニアの鉄人」スタート
10月	北海道胆振東部地震災害派遣、海曹への挑戦、自衛官募集今こそ勝負
11月	自衛隊観閲式・殉職隊員追悼式、空自幹部への道
12月	中央研修会、自衛隊音楽祭
1月	謹賀新年、写真で振り返る平成30年
2月	入隊・入校激励会特集、陸海空部隊訓練始め
3月	平成の30年を振り返る（海外任務）、陸自幹部への道

(イ) 拡販の推進

本年度は、『おやばと』拡販ステップ・アップ作戦」を修正、「ステップ2」の期間を令和元年度まで1年間延伸し、実績の上がっている各県家族会の実施要領等を他の県家族会への共有、普及に努めた。

各県家族会は、会員以外の読者の拡大と会員の購読率の向上を狙って『おやばと』拡販ステップ・アップ作戦」に基づき、ステップ2作戦3年目として、平成29年度の購読結果及び実態調査結果等に基づき、目標を再設定して引き続き購読者の増大に努めた。

その結果、会員の購読率向上については、51県の家族会中27県家族会が、目標購読率を達成した。本会全体としては、平成29年度と比較して0.5%（平成29年度は、63.0%）増加の63.5%の購読率となった。既に100%以上の購読率を維持している県家族会に加え、15家族会が29年度と比較して購読率を上げた。

(ウ) その他

「おやばと」紙面で掲載した記事等を編集し書籍として販売を可能とするよう、理事会決議を踏まえて関係省庁と調整し、本会の事業の一つに加えた。

ウ その他

本事業の会員への周知及び会員以外への情報発信の為、ホームページの充実及び適時のニュースへの更新を図った。

(2) 公益事業2：「自衛隊の諸活動に対する協力・激励事業」

ア 自衛隊が行う家族支援に対する協力

(ア) 本会は、家族支援協力事業に関連する演習等に積極的に参加し、当該事業の深化を継続的に図った。

海上自衛隊は、一部の地方隊と各県家族会等との協定がこれまでも締結されていたが、中央協定は未締結であった。これに対して、海上自衛隊全体と本会等との統一事業とすべく、海上幕僚監部との調整を本部で継続した。

(イ) 「関係部外団体等による家族支援に対する協力について」(陸自通達)が3月14日改正され、留守隊員家族の安否確認実施時の不審者との誤認防止を図る為、家族支援協力の担当者であることの証明書が、関係する駐屯地業務隊から発行されることとなった。

(ウ) 各県家族会は、地域毎の特性を生かしつつ、安否確認態勢の更なる充実を図った。

一方で北海道胆振東部地震災害、中国地方を中心とした西日本豪雨災害等、実際の災害派遣の場面における教訓及び反省を踏まえた更なる改訂について、その必要性を再認識した。

(エ) 各県家族会の活動を支援するためのボランティア保険制度の定着化を図った。

イ 自衛隊が行う募集・就職援護活動に対する協力

(ア) 各県家族会は、年度当初から地方協力本部と緊密な連携を保持しつつ組織的支援協力態勢を整え、入隊・入校者激励会を主催するとともに募集及び援護情報の提供、地方協力本部が実施する行事への支援・協力等を実施した。

(イ) 6月15日(金)、陸上幕僚監部主催の「募集協力者会同」に各県家族会長が参加した。内局人材育成課及び陸海空各幕の人事担当者から隊員募集、就職援護、家族支援等に関して説明・依頼が行われた。

官側説明の後、募集難への対応策(アイデア等)について取り組み状況を道北・宮城・東京・大阪・高知・福岡の各県家族会が発表した。

(ウ) 本年度は、1,092件(平成29年度768件)の募集情報及び94件(平成29年度61件)の援護情報を提供した。この結果全国で入隊者268人(平成29年度214人)、就職者39人(平成29年度16人)の成果に結びついた。

特に、入隊に直結する情報提供については、5県の家族会(熊本、神奈川、高知、秋田、福岡)において成果を上げた。

(エ) 総合募集情報誌「Defense World 19」(2019年版)の作成

編集にあたっては、以下の点に着意して「Defense World19」を作成し、隊員募集・就職援護及び家族支援に寄与するとともに、わが国の防衛の考え方や自衛隊の各種活動について紹介した。

- ・ 前年版を基本に、自衛隊を目指す若者を主対象にしつつ誰にでも自衛隊がよく分かるように作成
- ・ 自衛官ってどんな人達、防衛白書、家族の声、援護特集を更新
- ・ 我が国の安全保障・防衛政策、平和安全法制、防衛大綱、中期防等の分かり易い解説
- ・ 平成30年の自衛隊及び家族会の事業に関するビジュアル化(写真の多用)

を重視

ウ 自衛隊が行う広報に対する協力

各県家族会は、自衛隊が実施する行事を会員等に広く情報提供した。その際、本部が作成した自衛隊家族会パンフレットや家族会カレンダーを活用した。

エ 隊員に対する慰問・激励

(ア) 演習・訓練に従事する部隊・隊員及びその家族を激励するとともに、陸・海・空自衛隊の各部隊等が実施した記念行事、音楽祭、慰霊行事等への参列や家族支援協力の訓練に参加した。

(イ) 国際平和協力活動等派遣部隊・隊員に対する激励

番号	名 称	実施時期	対象部隊等	実施家族会
1	第31次水上部隊	30. 8	第1護衛隊	神奈川県
2	第32次水上部隊	30. 12	第4護衛隊	広島県
3	第33次水上部隊	31. 3	第3護衛隊	京都府
4	第32次航空隊	30. 7	第5航空群	沖縄県
5	第33次航空隊	30. 10	第2航空群	青森県
6	第34次航空隊	31. 1	第5航空群	沖縄県
7	第10次行動支援隊	30. 8	中央即応連隊	栃木県
8	第11次行動支援隊	31. 1	第16普通科連隊	長崎県
9	UNMISS 司令部要員	30. 6	陸上総隊	本部
10	UNMISS 司令部要員	30. 12	陸上総隊	本部
11	7月豪雨災害派遣部隊	30. 7	第3師団	岡山県
12	7月豪雨災害派遣部隊	30. 7	第13旅団 呉地方総監部	広島県
13	7月豪雨災害派遣部隊	30. 7	第14機動旅団 西空警戒管制団	愛媛県
14	国際緊急援助隊	30. 10	第1輸送航空隊	愛知県

(3) 国民運動等への参加

国民運動諸団体が主催する活動に、署名運動や推進大会参加を通じて積極的に参加した。

ア 北方領土返還要求署名活動

北方領土返還要求運動連絡協議会の幹事団体として各種活動に積極的に参加した。

(ア) 北方領土返還要求署名活動を強力に推進し、一つの団体としては最も多い168,523名の署名を得た。

(イ) 7月7日(土)～9日(月)に実施された北方四島交流訪問事業(ビザ無し交流)に、本部から鍛冶運営委員及び栃木県家族会から横松盛人会員が参加した。また、事業参加の成果を「おやばと」及びホームページへの記事掲載し、会員はもとより

広く国民に対して北方領土の現状及び早期返還の必要性を呼びかけた。

(ウ) 2月7日(木)、北方領土返還要求全国大会が国立劇場で開催され、伊藤会長、本部職員、近傍の県家族会員76人が参加した。

この中で、署名活動に取り組んでいる各種団体を代表して栃木県家族会から横松盛人会員が、「北方四島ビザ無し交流の参加経験を通じて日露両国民の相互理解の必要性を認識し、国民の強い意志を表明する署名活動により北方四島の返還実現を目指す。」と決意を述べた。

イ その他、憲法改正に関する各種フォーラム等に本部及び関東近辺の家族会員が参加した。

(4) 会の充実を図る事業

「平成30年度県別目標入会率」については、7県の家族会が目標を達成したものの、42県の家族会が目標に到達できなかった。目標未達成家族会の内、13県家族会が昨年より上昇し、27県家族会が低下しており、全体の入会率は26%と平成29年度の29%より約3%下落した。

全国の正会員数は、71,879人となり、平成29年度に比して1,383人減少した。

本部は、12月、各県家族会長(事務局長)に対し令和元年度目標を提示するとともに、部隊長・地方協力本部長等機関の長に対して、陸幕長通知「公益社団法人自衛隊家族会が行う各種施策への協力の推進について」(平成29年1月、保存期間5年)を基に、本会入会意識調査アンケートに関して連携を密にし、その成果を新会員の入会促進に反映するよう依頼した。また、陸海空部隊長及び幹部候補生学校長に対して家族会への新会員入会促進への協力について依頼した。

「自衛隊家族会パンフレット」を更新し、各県家族会等へ51,000部配布した。

(5) 活性化施策の検討

真に「自衛隊を支えることができる組織」として本会を充実発展させる為に、「組織の強化」、「会員の充実」及び「活発な活動」を主要検討項目として、夫々に主担当を置いた上で「活性化施策検討委員会」を本部に設置し、各県家族会と一体となり継続的な検討を開始した。

本部は、11月20日(火)に開催した中央研修会で家族会活性化施策意見交換会を開催し、その成果を「おやばと」2月・3月号に掲載して各県家族会会員に周知した。

(6) その他

ア 「自衛隊家族会活動の手引き」の作成・配布

本部は、「自衛隊家族会活動の手引き」を更新し、各県家族会及び地区会に9,100部を8月に配布した。

イ 改正個人情報保護法に基づく個人情報の管理

改正個人情報保護法の趣旨、運用要領等に基づき本会で作成した改正個人情報保護規則及び個人情報保護マニュアルの内容について、総会等において徹底するとともに、防衛情報紙「おやばと」の紙面を通じて広く会員に周知した。

ウ 本会関連規則等の整備

現下の厳しい安全保障環境下において、多様化・長期化する自衛隊の任務活動を支援可能とする為に、3月19日「国際平和活動等支援基金管理運営規則」を「自衛隊の活動支援基金管理運営規則」に改正した。

3 本会の財務に関する事項

(1) 分担金算定要領の見直し

これまでの各県家族会の分担金の算定要領を見直し、総会で決議した。当該要領については、令和元年度から実施する。

(2) 「国際平和協力活動等支援基金」の使用用途の拡大

2－(6)－ウのとおり。

(3) 防衛情報紙「おやばと」の購読料

「おやばと」の発行部数は、890,010部（平成29年度897,060部）と前年度に比し7,050部減少した。「おやばと」拡販作戦による部数減少への抑制効果は得つつも、会員数の減少により結果として部数の減少となった。

(4) 総合募集情報誌「Defense World 19」の購読料

「Defense World 19」の発行部数は、24,000部であった。本会の財政基盤を支える大きな柱の一つであり販売努力を継続した。

4 会議の実施状況

(1) 定期総会：6月14日（木）（場所：アルカディア市ヶ谷）

(2) 理事会

第1回 5月下旬（書面決議 5月28日成立：平成29年度自衛隊家族会事業報告、同収支計算書及び監査報告）

第2回 6月14日（木）（業務執行理事の選任、定期報告）

第3回 12月初旬（書面決議 12月7日成立：令和元年度事業計画の骨子）

第4回 3月19日（火）（令和元年度事業計画・収支予算書の審議、総会開催通知及び議題等）

(3) 中央研修会：11月20日（火）（場所：グランドヒル市ヶ谷）

各県家族会の事務局長等73名が出席し、事務局長の業務に関する次の事項について

の研修を行った。

○ 活性化施策について「組織の強化」「会員の充実」「活発な活動」について、夫々2県(計6県)の代表者が発表し、これに対する質疑応答及び意見交換、更には今後の方向性の明示

○ 家族支援協力の実効性向上について本部からの説明

○ 本年度作成した「活動の手引」について本部からの説明

(4) 「国際平和協力活動等支援」基金管理運営委員会：2月21日(金)

(5) 地域協議会の実施状況

本部要望の議題の他、会員の拡大、地本・部隊との連携強化等について討議、意見交換を実施した。

地域	実施時期	開催地	主要議事等
北海道	8. 30	札幌市	1 主要議事 ・ 募集協力における地本支援の在り方 ・ 県・地区会における家族会活性化の現状と今後の施策 ・ その他 2 講演
東北	10. 11	盛岡市	
北関東	9. 9	日光市	
南関東	10. 25	練馬駐屯地	
東海・北陸	10. 16	鳥羽市	
近畿	11. 17	大津市	
中国	10. 17	岡山市	
四国	10. 10	徳島市	
九州・沖縄	7. 18	佐世保市	

(6) 運営委員会

毎月開催した。

5 その他

(1) 賀詞交歓会

1月16日(水) グランドヒル市ヶ谷において、家族会、隊友会、日本郷友連盟共催の「協力三団体共催賀詞交歓会」を本会が幹事として開催した。

賀詞交歓会には、原田防衛副大臣、国会議員、事務次官等内局主要幹部、統合幕僚長、各幕僚長等自衛官、防衛関係諸団体の代表者など約260人が参加した。

家族会からは、本部役員や関東地域の家族会員約30人が参加すると共に、開催の諸支援を実施した。

(2) 各県家族会細部活動状況

別紙「平成30年度活動状況調査表(集計)」のとおり。

平成30年度 活動状況調査表(集計)

地域	NO	支部	カード数 (29年版)	正会員数	正会員 組織率	新隊員家族の入会			女性会 員数	賛助 会員	地区会状況				正会員会費		おやばと			地区会総会		防衛講演会実施					北方領土署名			募集活動			援護活動		支部	地域
						29年度 入隊数 (陸籍)	新入会 員数	入会 率			地区会 総数	新編 地区 会	市町村 全数	地区会 保有市	結成 率	納入 数	納入 率%	購読 数	会員 以外 の購 読数	購読 率	実施 地区 数	実施 率%	県	立 (県 一 般 参 加)	地区 会	立 (地 一 般 参 加)	(地) 一 般 参 加	署 名 数	署 名 達 成 率	情 報 数	入 隊 者 数	情 報 数	就 職 数			
																																		県		
北海道	1	札幌	10,476	1,544	15	515	76	15	314	77	45	0	47	44	94	1,559	101	1,478	0	96	32	71	2	2	2	3	3	2	9,500	308	25	3	3	0	札幌	北海道
	2	道南	3,246	745	23	110	39	35	216	74	18	0	18	18	100	745	100	639	30	86	18	100	0	0	0	1	1	1	1,291	87	1	0	0	0	道南	
	3	道北	6,972	1,363	20	232	40	17	272	57	41	0	54	40	74	1,355	99	1,000	40	73	38	93	2	0	0	0	0	0	755	28	4	2	0	0	道北	
	4	道東	6,844	1,106	16	184	38	21	140	80	40	0	42	40	95	995	90	727	2	66	35	88	2	0	1	7	7	3	588	27	9	0	0	0	道東	
	5	道央	4,594	1,010	22	241	68	28	175	29	26	0	27	26	96	1,010	100	325	85	32	26	100	1	3	0	1	1	0	1,850	92	7	5	0	0	道央	
東北	6	青森	10,023	1,961	20	380	91	24	439	167	48	0	45	45	100	1,742	89	973	0	50	42	88	3	3	0	10	4	5	7,684	196	5	1	1	0	青森	
	7	岩手	3,877	986	25	203	36	18	73	4	32	0	33	33	100	927	94	218	60	22	10	31	0	0	0	2	2	0	963	49	11	0	0	0	岩手	
	8	宮城	6,777	2,461	36	392	93	24	322	104	62	0	37	35	95	2,408	98	629	176	26	40	65	2	0	1	15	9	3	5,208	106	34	7	1	0	宮城	
	9	秋田	3,433	1,872	55	179	96	54	367	58	6	0	25	24	96	1,872	100	598	0	32	4	67	0	0	0	12	12	0	1,572	42	70	34	0	0	秋田	
	10	山形	3,528	1,927	55	185	51	28	754	0	40	0	35	35	100	1,874	97	530	0	28	28	70	1	0	0	5	0	0	2,245	58	0	0	0	0	山形	
北関東	11	福島	4,889	1,454	30	226	65	29	72	30	6	0	59	34	58	1,436	99	588	0	40	0	0	4	0	0	2	2	0	4,962	171	7	0	0	0	福島	
	12	栃木	2,183	996	46	182	48	26	242	67	24	0	25	23	92	1,011	102	892	192	90	24	100	0	0	0	9	7	0	8,958	450	24	15	1	0	栃木	
	13	群馬	2,545	1,589	62	208	73	35	312	117	40	0	35	34	97	1,549	97	1,599	103	101	31	78	1	0	1	0	0	0	5,908	186	3	0	0	0	群馬	
	14	新潟	3,462	1,626	47	228	85	37	295	71	28	0	30	23	77	1,620	100	1,466	118	90	0	0	1	0	1	16	14	2	3,146	97	6	1	0	0	新潟	
	15	長野	1,851	709	38	144	23	16	12	61	46	0	46	40	87	709	100	400	40	56	32	70	0	0	0	7	2	2	625	44	9	6	0	0	長野	
南関東	16	茨城	4,108	203	5	266	6	2	31	0	0	0	44	0	0	203	100	615	410	303	0	0	3	0	3	0	0	0	2,714	668	11	11	0	0	茨城	
	17	埼玉	6,654	989	15	518	87	17	119	388	45	1	45	38	84	989	100	1,065	76	108	45	100	0	0	0	0	0	0	9,063	458	0	0	0	0	埼玉	
	18	千葉	5,867	888	15	508	65	13	160	167	26	0	54	26	48	871	98	874	101	98	23	88	1	0	0	8	3	5	1,420	80	10	0	0	0	千葉	
	19	東京	9,035	1,486	16	1,097	107	10	480	59	42	0	54	47	87	1,424	96	1,622	138	109	32	76	5	5	3	22	6	6	7,638	257	24	6	6	0	東京	
	20	神奈川	8,061	993	12	554	124	22	323	216	15	0	33	33	100	953	96	1,275	105	128	15	100	2	1	2	8	6	2	4,858	245	101	3	7	7	神奈川	
東海・北陸	21	山梨	901	364	40	73	18	25	58	19	12	0	27	13	48	335	92	269	1	74	8	67	1	0	0	0	0	0	0	0	16	5	10	4	0	山梨
	22	静岡	4,709	1,212	26	322	68	21	183	7	27	0	35	31	89	1,182	98	1,064	14	88	27	100	1	0	0	3	0	0	1,100	45	0	0	0	0	静岡	
	23	富山	982	674	69	67	30	45	95	34	14	0	15	14	93	675	100	505	10	75	14	100	1	0	0	9	9	0	3,676	273	3	0	1	0	富山	
	24	石川	2,198	992	45	120	44	37	171	73	19	0	19	19	100	951	96	1,000	44	101	19	100	1	1	1	13	13	0	792	40	33	13	31	20	石川	
	25	福井	1,108	500	45	70	48	69	129	10	11	1	17	16	94	499	100	509	0	102	10	91	1	0	0	2	0	0	981	98	0	0	0	0	福井	
近畿	26	岐阜	2,398	859	36	153	30	20	183	52	19	0	42	19	45	859	100	893	68	104	10	53	1	1	1	9	6	2	649	38	8	3	0	0	岐阜	
	27	愛知	5,524	1,531	28	617	219	35	196	35	27	1	54	54	100	1,531	100	1,279	96	84	27	100	2	0	0	10	6	0	752	25	6	0	1	0	愛知	
	28	三重	1,934	584	30	151	29	19	100	36	11	0	29	24	83	549	94	550	52	94	11	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	三重
	29	滋賀	1,165	512	44	92	16	17	104	68	5	0	19	19	100	590	115	588	0	115	2	40	1	0	0	2	0	0	0	0	3	3	0	0	0	滋賀
	30	京都	3,613	614	17	311	49	16	218	19	13	1	26	26	100	579	94	587	23	96	12	92	0	0	0	2	1	0	1,656	135	17	4	0	0	京都	
中国	31	大阪	5,600	1,115	20	800	93	12	203	75	18	0	66	66	100	1,115	100	1,346	231	121	18	100	1	0	0	14	0	10	970	43	43	20	4	0	大阪	
	32	兵庫	5,627	1,010	18	418	78	19	197	109	14	0	41	34	83	845	84	1,134	162	112	13	93	1	1	1	8	4	1	2,618	130	25	5	3	0	兵庫	
	33	奈良	1,086	351	32	94	8	9	66	3	23	0	39	25	64	278	79	98	3	28	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	奈良
	34	和歌山	1,389	564	41	90	0	0	41	110	9	0	30	9	30	564	100	544	0	96	9	100	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	和歌山
	35	鳥取	1,546	583	38	85	7	8	105	133	22	0	23	22	96	552	95	528	49	91	0	0	1	0	1	12	3	2	2,598	223	18	0	0	0	鳥取	
四国	36	島根	1,744	972	56	95	41	43	158	65	29	0	19	16	84	928	95	945	60	97	19	66	2	2	0	4	3	0	5,433	280	7	3	5	1	島根	
	37	岡山	2,207	562	25	188	28	15	131	14	33	0	27	27	100	511	91	880	40	157	30	91	0	0	0	0	0	0	2,337	208	0	0	0	0	岡山	
	38	広島	5,769	1,605	28	379	75	20	201	80	51	1	54	52	96	1,493	93	1,750	145	109	42	82	2	2	2	6	6	2	450	14	27	9	2	0	広島	
	39	山口	3,526	1,056	30	273	117	43	261	57	19	0	19	19	100	972	92	713	29	68	16	84	0	0	0	13	6	3	1,450	69	32	12	2	1	山口	
	40	徳島	1,567	604	39	101	54	53	159	28	17	1	24	21	88	608	101	468	15	77	17	100	1	0	0	1	0	0	750	62	0	0	0	0	徳島	
九州・沖縄	41	香川	1,589	900	57	125	95	76	0	14	10	0	17	17	100	884	98	614	29	68	10	100	1	0	0	3	0	2	4,200	233	9	0	0	0	香川	
	42	愛媛	2,506	1,040	42	153	62	41	294	71	19	0	20	20	100	936	90	1,010	3	97	16	84	2	0	1	3	0	3	1,802	87	8	1	0	0	愛媛	
	43	高知	1,679	871	52	103	30	29	242	40	36	0	34	34	100	750	86	616	35	71	24	67	1	1	1	4	2	1	1,738	100	79	12	5	1	高知	
	44	福岡	12,128	3,670	30	723	145	20	697	126	81	0	72	62	86	3,531	96	2,763	76	75	36	44	1	0	1	17	3	1	8,297	113	68	7	4	2	福岡	
	45	佐賀	3,812	2,347	62	143	99	69	494	13	50	0	20	20	100	2,386	102	1,662	0	71	7	14	1													